



千代小だより

11月号 第8号
令和8年10月28日

教育立市のまち 河内長野

家庭数配付

http://www.kawachinagano.ed.jp/chiyosho/

【「カッコよかった」を届け合う】～ 一生懸命に頑張る姿のすばらしさ ～

10 月 18 日（日）、晴天のもと運動会を予定通り実施することができました。地域の来賓の皆さま、保護者の皆さまには温かな声援と大きな拍手をいただき、子どもたちは一日を通して力を発揮することができました。心より感謝申し上げます。

保護者の皆さまから見て、子どもたちの頑張る姿はいかがでしたでしょうか。当日を迎えるまでのこの 1 ヶ月間、子どもたちは毎日のように練習を重ねてきました。「体を動かすこと」には、得意・苦手や好き・嫌いがつきものです。足が速い子もいれば走るのが苦手な子もいます。リズム感があり楽しく踊れる子もいれば、体が思うように動かずダンスに苦戦する子もいます。親心としてはつい「できる方がいい」と考えてしまいがちですが、一生懸命に頑張る姿は、速い・遅いや得意・苦手といった基準を超えて、何より「カッコいいもの」ではないでしょうか。頑張ったお子さまには、ぜひ何度も「カッコよかったよ」と伝えてあげてください。その言葉がけが、子どもたちの自信や自己肯定感を大きく高めることにつながります。

また、今年度も多くの方に PTA 競技にご参加いただきました。「若い頃と比べて思い通りに走れなかった」と感じた方もいらっしゃったかもしれません。しかし、子どもたちの前で一生懸命に走る姿は、速さはもちろん、たとえ転んでしまったとしても本当にカッコいいものでした。子どもたちの目にもそう映っていたはずですし、「自分も頑張ろう」という勇気を与える姿だったと感じております。ご参加いただき、本当にありがとうございました。

「来年 PTA リレーがあるなら、もっと鍛えてカッコよく走りたい」と感じた方もいらっしゃるかもしれませんね。「より良くなりたい」と行動することは、大人にとっても子どもにとっても大変素晴らしいことです。「楽しい」「やりたい」「悔しい」「もっと上手くなりたい」という思いは、人を成長させるガソリンです。そして、そのガソリンに火をつけるきっかけとなるのが「自信」です。だからこそ、子どもたちが自信を持てるよう周囲が温かくサポートすることが大切になります。

運動会を心から楽しめた子もいれば、思い通りにいかず悔しかった子もいるでしょう。しかし、「誰もが自分なりに一生懸命に頑張った」ことに変わりはありません。ぜひご家庭でも、頑張った子どもたちへあらためて言葉にして、たくさんの褒め言葉を何度も何度も届けてあげてください。

【学校チラシ等掲載ページについて】

河内長野市では、これまで紙面にて各ご家庭に配布していたチラシを、電子媒体でお知らせするように段階的に取組みを進めています。右記 URL や QR コードからイベント等のお知らせを確認することができますので、ぜひお試しください。

学校へ依頼のある配布物を電子化！



河内長野市
小中学校チラシ等
掲載ページ
https://sites.google.com/kawachinagano.ed.jp/knhaifu/home

毎週月曜日更新

10 月のチヨスゴ（チヨダのスゴイとこ）

○ お店探検（2年生）

グループで手分けをして色んな商店を見学に行きます。



ドキドキしながらお店の方にインタビュー。



学校に帰って、教えてもらったことや気づいたことをまとめます。



○運動会練習①

運動会の練習がはじまった初日の様子です。（1年生）



体育館では細かな動きを全員でチェックしています。（2年生）



いろいろな隊形移動に挑戦しました。（3年生）



○運動会練習②

踊りに合わせて奏でられた太鼓の音色が素敵です。（4年生）



踊りと掛け声!!迫力満点千代小のソーラン!!（5年生）



フラッグも個人技も繰り返し練習。心をひとつにさすがの演技!!（6年生）



※お願い 【車でのご来校および近隣施設への駐車禁止について】

本校には駐車スペースがございません。お車でのご来校はご遠慮くださいと日頃よりお願いしております。しかし参観日や運動会などの行事の際に、学校向かいのファミリーマートや近隣施設へ駐車される方が見受けられます。

近隣施設や周辺住民の方々へのご迷惑となりますので、近隣施設への駐車・停車は絶対に行わないよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

・行事（参観日・運動会等）の際の駐車禁止

・登下校時の送迎に伴う一時駐車・停車の禁止

11月 行事予定

令和8年度 行事予定表<11月> 河内長野市立千代田小学校

日	曜	主要行事	下校時刻
1	日		
2	月	1限 美化キャンペーン《6年》 おはなしのとびら《なかよし》 6限 ぐんぐん《3年》	123年14:50 456年15:40
3	火	文化の日	
4	水	234限 人権教室《3年》 秋みつけ《12年》 6限 委員会活動（11月分） 6限 ぐんぐん《4年》⑤	1~5年14:50 6年15:55
5	木	つぼみの会《2年》 全国瞬時警報システム緊急地震速報訓練② 修学旅行①	12年14:50 3~5年15:40 6年下校せず
6	金	修学旅行②	12年14:50 3~5年15:40 6年17:30
7	土		
8	日		
9	月	校外学習《5年》	123年14:50 456年15:40
10	火	<特別校時> 水質検査	2~6年13:45 1年14:50
11	水	<B校時4h> 募金活動① 全国瞬時警報システム（=Jアラート）全国一斉情報伝達試験③	全学年13:20
12	木	募金活動② つぼみの会《3年》 昼休み わくわく遊び③ 中学校より職場体験学習①	12年14:50 3~6年15:40
13	金	募金活動③ 234限「小学校出前教育プログラム」《5年》 中学校より職場体験学習②	12年14:50 3~6年15:40
14	土		
15	日		
16	月	234限 おはなしのとびら《3年》 6限 ぐんぐん《3年》 家庭学習週間~11/22	123年14:50 456年15:40
17	火	<B校時> 5限 おもちゃ作り《2年》 56限 秋期歯科保健指導《36年》	1年14:20 2~6年15:10
18	水	2限 人権の花植え《2年》 6限 クラブ活動⑤ はみがきデイ① 遠足《1年》 秋季尿検査二次	123年14:50 456年15:55
19	木	つぼみの会《4年》 5限 音楽会《5年》 はみがきデイ②	12年14:50 3~6年15:40
20	金	就学時健診《短縮4h》	全学年13:00
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	<B校時>	1年14:20 2~6年15:10
25	水	<B校時4h>	全学年13:20
26	木	<B校時> つぼみの会《5年》	12年14:20 3~6年15:10
27	金	社会見学《4年》【寺ヶ池】 秋季尿検査予備日	12年14:50 3~6年15:40
28	土		
29	日		
30	月	食育授業《1年》 Best Book Battle（B1）《5年》	123年14:50 456年15:40



○12月のおもな行事





☆個人懇談会・・・
1日（火）、3日（木）、7日（月）、
8日（火）の［4日間］で実施

2日（水）委員会活動
ぐんぐん（4年）
10日（木）地区児童会
11日（金）~17日（木）集団登校
14日（月）学校保健委員会
ぐんぐん（3年）
16日（水）クラブ活動
17日（木）音楽会（6年）
校外学習（4年）
18日（金）遠足（3年）
World 学習（6年）
22日（火）パナソニック電池教室（3年）
23日（水）大掃除 ※給食最終日
24日（木）2学期終業式
※全学年13:00に下校

☆冬季休業日・・・ 冬休み
12月25日（金）~1月7日（木）
3学期始業式・・・1月8日（金）

校長室だより

学校も家庭も完璧ではない

運動会が終わりました。すべての子どもが意欲的に取り組んでほしいと願って活動してきましたが、「すべての子どもが」と言い切れない現状があります。その子どもなりの頑張りの姿を見せてくれたということでうれしいのですが、本来は「すべての子どもが頑張ることができた、やりきった」と思えるものにしたいと考えながら現実には思うようにはいきません。学校は残念ながら完ぺきではないのでお家の方からもいろいろなご指摘を受けて、修正しながら完ぺきを目指そうと努力をし続けています。

もちろん、ご家庭でも完ぺきに子育てできているということはほぼないと思います。だから学校と家庭、家庭と家庭がお互い協力し合うことが大切だと思っています。

子育ては難しい!!だからこそ、みんなで考えたい

「子どもが言うことを聞かない」という声をいろいろなところで聴くことがあります。中には「親が言っても子どもがその通りにしないから、もうあきらめています」とおっしゃる保護者の方もおられます。詳しく話をうかがうと、やってはいけないことを「アカン」といったあとに家の中で暴れられたり、「家出する」と言われたりしたそうです。親としては「暴れられたら面倒だな」「家出されたらどうしよう」という不安から子どもにきちんと注意できなくなったとのことでした。多くの保護者の方ならこんな経験はあるでしょう。

この場面は、登校をしぶっていた子どもが登校するまでにたどる経過で出くわす場面でもあります。不登校が続いている家庭には、「家庭のルール」を作ってもらいます。大きく2種類のルールです。一つ目は生活リズムを整えること、二つ目はデジタルを制限することです。とくに二つ目のルールを守らせる場面で、子どもは暴れたり、家出しようとしたりすることでルールを覆そうと企てます。親は毅然と「それは認められない」と言い切ることで約束を守ってくれる存在として親への信頼度を高めていきます。逆にルールが簡単に破られてしまうことで親への信頼度は低くなってしまうそうです。

この毅然とすることがとても難しいのだと思っています。家出すると言われたら「あなたが心配だから」と気持ちを伝えて「やめてほしい」と全力で説得します。暴れて物を散らかしてしまったら本人に片づけをさせます。そして暴力をふるったら「暴力は許さない」と伝えて、警察や学校に相談してもらうことも視野に入れても良いかと思います。

「登校しぶり」体験記を交流しましょう

子どもへの対応は千差万別です。だから難しいのだと思います。難しいということは多くの保護者の方々が困っていたり、悩んでいたりしています。その思いを出し合うことで「うちだけじゃないんだ」「こんな風に考えてもいいんだ」と子育てを自分とは違った視点で考えるきっかけになればと「登校しぶりをみんなで考えよう」のお手紙を配布しました。子育ての難しさをみんなで考え、みんなで乗り越えるために体験記の提出をお願いします。書くのは苦手だけど話したいという方は学校まで連絡いただければ聞き取ることも可能です。

みんなでみんなのために知恵を出し合えたらうれしいです。